

テ世故ニ通セリ

甲府市上府中組酒匂勝政氏 廢藩置縣ノ新制ヲ施カレ山梨縣廳ヲ置カル、ノ當初ヨリ
全廳ニ職ヲ奉レ未ダ退職セサルハ氏其人ナリ事務ニ練達セル何ソ言アルヲ俟タンヤ

相川村深澤嘉猷氏 明治十年以前戸長又ハ區長ヲ奉職シタリ其後間斷ナク一村ノ公務
ニ從事シ自治ノ新制ヲ布カル、ヤ村長ニ當撰セラル、氏又郡會議員及ヒ縣會議員ニ舉
ケラル、氏ハ公明正大ヲ以テ鳴レリ衆庶ノ望ミナ氏ニ屬スル豈偶然ナランヤ

相川村保坂階行氏 先年塔岩、峯元ノ戸長タルコトアリ役場事務ニハ從事スル年アリ
、蓋シ事ニ臨ミ敢爲ノ氣象アルハ氏ノ素性ナルカ如シ常ニ公共ノ事ニ志厚シ

相川村林信夫氏 資性寛大ニシテ苟モ嚴酷ノ行爲アラス能ク赤貧ヲ救護スルノ慈善心

アリ實業ヲ專ラトス今回舉テレテ全村々長ニ當撰シタリ氏ノ言行遠徹スルノ勢アル蓋
シ有徳ト云フヘシ

千代田村久保寺匡正氏 爲人活潑有爲ノ氣象アリ能ク殖産ノ業ニ傾心留意セリ氏舉テ
レテ村長トナリシコトアリ學識アリテ又雄辯家ナルノ聲ヘアリ常ニ弊根ヲ匡正スルノ
念厚カリシ

千代田村田野口則富氏 維新ノ前後名主役ヲ勤ムルコト二回明治六年一月下帶那村戸
長ニ任セラレ全八年三村聯合シテ千代田村ト改稱スルニ及シテ同年八月十四日戸長ニ
任セラル、其後ト雖モ多ク村務ヲ帶ヘリ性資率直ナリ

千代田村神宮寺政方氏 曾テ戸長ヲ拜命スルコト數年能ク其職任ヲ盡セリ、氏ハ性資
正直ニシテ頗狹ナラス行ク處ニ行キ到ル處ニ到リテ止ムノ勇氣アルヲ以テ或ハ氏ニ反

對者ナキニアラスト雖モ眞ニ攻撃スヘキノ人ニアラサルナリ

福岡村横山精義氏 頑固守舊ノ徒ニシテ自治ノ進路ニ適ハサルノ徒ヲ提掖シ鼓舞シ能ク舊習ヲ根絶セシムルニ孜々タルカ如シ荷モ一村ニ關スル樞要ノ事ニハ氏ノ與カラサルナキノ勢アリ、氏カ經歷ノ一端ヲ掲クレバ戸長、區長、郡吏等ニ任セリ

能泉村長田次郎氏 カ公共ノ事ニ心ヲ傾ケタルハ大ニ見ルヘキモノアリ、曾テ戸長其他一村ノ公務ヲ帶アル一再ニアラズ全村中優遇ヲ受シルノ人ナリ

福岡村長田知康氏 元戸長ヲ拜命シ又區長ニ任セラル一村ノ公務ニ關シテハ横山精義氏等ト共ニ多ク其衝ニ當ルノ人ナリ氏ハ經驗家ニシテ事ニ臨ンテ丁寧周密ナリ

千塚村小澤孝治氏 カ經歷ノ一端ヲ掲クレバ戸長ニ區長ニ又縣會議員ニ累次歴任シ

氏明治十六七年ノ候ハ勢恰モ破竹ノ如クニシテ殆ソド地方ヲ風靡スルニ至リシカ今ハ氏政治ニ志ヲ傾クルニ深カラサルカ如シ然レモ氏カ已往ノ功績少シトモサルナリ

千塚村望月龜太郎氏 先年大宮村千塚村ノ書役トナリ辭シテ後職ヲ郡衙ニ奉ズ氏カ不羈獨立シ手腕ヲ以テ能ク善處スルニ敏ナルハ又偉ナリ

大宮村剣持伊右衛門氏 全村ノ戸長ヲ奉職スルコト數年ニシテ又舉ケラレテ村會議員トナレモ氏ハ神道家ニシテ能ク德操ヲ重セ

大宮村内藤圓次郎氏 先年役場書記タリシカ後郡衙ニ職ヲ奉セリ勤續スルコト十有余年其間職任ヲ保全シ粗忽ヲ痛斥スルヲ以テ事トセリ又有爲ノ人ナリ

飯沼村横澤保高氏 才子ト呼フモ可ナリ篤實ト稱スルモ可ナリ、事務家ニシテ機敏ナ

リト評スルモ又不可アルヘカゾズ其抱持スル所ノ意見明漸ニシテ果斷アリ性質謙遜ニシテ温和ナリ

千塚村窪田直隆氏 戸長又ハ其他一村ノ公務ヲ帶フル屢々ナリ氏全村中唯一ナル學識家ノ名アリ世才家タルノ聲アリ或ル一挫折ニ因テ其節ヲ變シテ勢ニ阿ル者ナランヤ眞ニ意志ヲ透徹スルノ人ナリ

飯沼村横澤松兵衛氏 舉ケラレテ市會議員タルコトアリ其ノ家政ヲ整然ナラシメ實業ニ勵勉拮据今日ノ隆盛ヲ致シタルハ蓋シ其志勁々トシテ奪フヘカラサルモノアリ、氏夙ニ一村ノ弊習ヲ絶ツニ鞠躬スト云フ

國里村長澤彦太郎氏 先年某學校ノ教員ヲ勤メタリシカ辭職後ハ専ラ農ヲ事トセリ、青年ナルモ平素熱心銳意事ヲ處シ地方ノ利害ヲ考量シ苟モ不忠實且不親切ナル行爲ア

ラサルカ如シ殊ニ村内ノ仰望淺カラズ

國里村大芝彌太郎氏 常ニ地方公共ノ事ニ志ヲ致ス切ナリ本年水災ノ如キハ氏與リテガアリ、又不仁不義ノ徒ヲ痛斥シ道德ヲ講セリ

清田村飯野忠次郎氏 村會議員及區長ニ舉ケラレ又收入役ニ推撰セラレ、氏性質温諒ニシテ寡言ナリ

清田村中澤傳氏 爲人硬直ニシテ、敢爲ノ氣風アリ今閱歷ヲ見ルニ戸長及村長ニ當撰セラレタルコトアリ氏ノ伎倆ハ著者之ヲ窺知スル能ハズト雖モ全村中崛起シタルノ一人ナランカ

清田村佐柄宇十郎氏 一村ノ情弊ヲ打破シ眞ニ平衡ナル進取ノ策ヲ得ントスルニ汲々

タレノ述、炳焉蔽フヘガラサルモノアリ氏警察部内ニ職ヲ奉シ又ハ村會議員、助役等ニ當撰セラル全村ニテ秀才ヲ以テ名アリ

清田村丸山祖右衛門氏 特ニ養蠶ノ業ニ經驗アリ、氏ハ實業家ヲ以テ名アリト雖モ今ヤ昔日ノ毅然タル氣象ヲ振興セザリレハ衆庶ノ措ム所ナリレ、一得一失モ意ニ介セザルノ性質アルハ氏カ獨得ノ長所ナリ

清田村笹本慎吾氏 戸長又ハ村長ニ就職シタルコト數次ニシテ又郡會議員ニ當撰セラレ、恒ニ一村ノ利害得喪ヲ考究シ公利公益ヲ慮ル、彼レニ黨シ此ニ黨シ志ヲ變ヘ節ヲ控ケ尙且願ミサルシ輩ト全視スヘケンヤ、氏ノ言行ニ徵スルニ眞ニ是レ血性男子ト云フテ可ナランカ

清田村雨宮作右衛門氏 世事ヲ抛テ節儉ヲ主トシ専ラ家政ノ秩序ヲ是レ圖リ餘念ナキ

人、清田國里兩村中誰カ氏ト同視スヘキアランヤ農蠶ノ業ニ勉勵ス資性謹直ノ人ナリ

清田村小池傳次郎氏 爲人活達能ク事務ヲ執レリ全村助役タルヤ能ク職任ヲ盡セリ氏カ已往ノ來歴ニ徵スルモ功アリト雖モ欠點ナキハ氏ノ本領ニシテ村人ノ仰望スル豈故ナカラシヤ

増富村有井新兵衛氏 舉ケラレテ全村々長タリシコトアリ其他一村ノ公務ヲ勤ムル一再ニアラサルナリ、氏ハ人ヲ戴キテ己レノ尊ヲ售ラントスルノ輕躁家ナラス、又學識ヲ以テ優ナルニアラスト雖トモ不羈獨立不偏不黨公平ニ忠直ニ事ヲ處スルヲ以テ恆トセリ故ニ氏ノ一舉一動ハ能ク村童ノ模範トナレリ

増富村小澤甚兵衛氏 學者ニアラストテ事務家ナリ、君子風ニ非スシテ豪傑ナリ故ニ事ニ當リテ毅然動セサルノ氣象ナシトセス、氏地方ニテ講法家ノ名アリ氏又特ニ交際

増富村小尾半次郎氏 爲人正直毫モ權變ヲ用ヒス宛然婦人ノ如キ風采ヲ以テスルト雖
トモ又何トナシ我コソ其昔小尾某氏ノ後胤ナリト云ハシハカリノ動作アリトハ著者ノ
私見、氏學才經驗アリテ事ヲ處スルニ鋭敏ナリ

増富村白倉丑五郎氏 來歴ノ徵スヘキモノ多クナリトセス然レトモ其ノ正邪是非ヲ判
別スルニ果斷アルノミナラス人ニ阿諛セサルノ氣象アルカ如シ恆ニ公平ヲ守ルハ殊勝

安都玉村植松延寛氏 先年甲府辨達會社ニアツテハ氏與カリテ力アリシカ該社ヲ辭レ
テ後實家ニアリテ漢學ヲ修メ尙進シテ修學ノ志勃々侵スヘカラサルモノアリト雖モ家
政ハ氏ノ身邊ニ係累レ爲メニ其ノ志ヲ挫折シタルハ惜ムヘシ氏村會議員其他ノ公務ニ
擧ケラル、全村中地位名望特ニ淺カラス

安都玉村高見澤胤言氏 舊制ノ當時副戸長及戸長ヲ拜命シ又ハ他ノ公務ニ任スル少シ
トセス、氏今ヤ擧ラレテ村長ニ當撰セラル、ヤ黽勉拮据能ク事務ヲ整理セリ、氏夙ニ
地方公共ノ事ニ志ヲ傾ク、氏ノ性眞率敢テ自ラ修飾ヲ事トセス

安都玉村内田豐平氏 當時村會議員ナリ昨年兄小尾朝雄氏ト或ル事ヲ競フテ其意志ヲ
徹底セサリシト雖トモ氏ハ村長又ハ郡會議員タルモ愧チサルノ技倆アリ

安都玉村中島泰路氏 明治五年故アリ其兄ノ家督ヲ相續セリ氏ハ異常ノ卓見ト異常ノ
膽力トヲ具ヘ獨立不羈ニシテ何人ノ喜怒何人ノ愛憎モ意ニ介セス正義ヲ踐マサルナシ
西保村古明地與惣兵衛氏 俊才卓識ニシテ其ノ村長タルヤ克シ職任ヲ全フス、地方ノ
公共事業ニ力ヲ盡シ専ラ公益ヲ計ラントスルノ人ナリ、氏カ己往ノ成績ヲ鑑ミ大ニ將
來ヲトスルニ足ラン

中牧村岡宗八氏 宛然政治家ナルノ風采アルモ其實商業專門ノ人ニシテ、商事ニハ老練ノ術ヲ得テリ、性着實、誰カ氏ヲ信用セザランヤ

奥野田村小野八郎氏 ハ曾テ村會議員ニ選ハレ尋テ村長ニ舉ケラル、或ル一流ノ者ハ氏ニ攻撃ヲ加フ、然レトモ氏ハ攻撃ヲ享クルノ人ニアラズ、性剛毅、其志ヲ徹底スルニ躊躇セザルノ勇氣アリテ勇氣侵スヘカラス、左リナカラ氏ノ技倆能ク百難ヲ切テ抜ケルカ否ヤ

奥野田村桐原利八氏 才識家ナリ又事務家ナリ、全村中嶄然頭角ヲ顯ハセル人ナリ氏曾テ村會議員ナリ其ノ議場ニアルヤ快活ノ議論ヲ以テ鳴ル、慎重事ヲ處シ、勤勉治ヲ圖ルト云フ

奥野田村中村源八氏 曾テ全村助役ニ舉ケラレタルコトアリ、其他村事ニ盡シタルノ

横アリ、本年七月村長ノ後選アルヤ、氏ハ村長ヲシテトスルノ勢力アリシモ或ル場合ノ爲メニ氏ハ固シ辭シテ之ヲ受ケス、氏村民ヲ撫愛スルノ念厚シ、専ラ一村ノ安寧ヲ保シ、其ノ事ヲ以テ、一村ヲ統治スルニ難カラシヤ所謂牛刀ヲ以テ雞ヲ割ツノ勇マランカ

奥野田村峯野保佑氏 自治制以前戸長ヲ勤メ又舉ケラレテ村長トナル、氏カ治跡上環鑿ヲ存セス、其敏腕ヲ見ルニ足ルヘシ、氏爲人方正、嚴直其ノ品行ノ如キ殆ンド環統ヲ指摘スルヤ

五開村 山下幸太郎氏 幼ニシテ嚴父ニ離レ母ノ膝下ニ成育セラレタル人ナリ、氏或ル時告テ曰ク余ハ文章ニ巧ナラス、只志操ノ鞏固ナルヲ言行ノ一致ヲ以テテ信用せられ、其ノ言ハ、冒險無謀ノ事ヲ斥ク、循々然能ク村治ヲ圖リ、商業ヲ專ラシメ、其ノ壯年、余輩刮目シテ其將來ヲ見ントス

中牧村岡宗八氏 宛然政治家ナルノ風采アルモ其實商業専門ノ人ニシテ、商事ニハ老練ノ術ヲ得タリ、性若實、誰カ氏ヲ信用セザランヤ

奥野田村小野八郎氏 ハ曾テ村會議員ニ選ハレ尋テ村長ニ舉ケラル、或ル一流ノ者ハ氏ニ攻撃ヲ加フ、然レトモ氏ハ攻撃ヲ享クルノ人ニアラズ、性剛毅、其志ヲ徹底スルニ躊躇セザルノ勇氣アリテ勇氣侵スヘカラス、左リナカラ氏ノ技倆能ク百難ヲ切テ抜ケルカ否ヤ

奥野田村桐原利八氏 才識家ナリ又事務家ナリ、全村中嶄然頭角ヲ顯ハセル人ナリ氏曾テ村會議員タリ其ノ議場ニアルヤ快活ノ議論ヲ以テ鳴ル、慎重事ヲ處シ、勤勉治ヲ圖ルト云フ

奥野田村中村源八氏 曾テ全村助役ニ舉ケラレタルコトアリ、其他村事ニ盡シタルノ

横アリ、本年七月村長ニ改選アンヤ、氏ハ村長ニシテハ其ノ勢力アリシモ或ル場合ノ爲メニ氏ハ固ク辭シテ之ヲ受ケス、氏村民ヲ撫愛スルノ念厚シ、専ラ一村ノ安寧ヲ保シ、其ノ暇氏ハ村長ニシテハ其ノ道ニ村ヲ統治スルニ難シクシヤ所謂牛刀ヲ以テ雞ヲ割ツノ勇アリランカ

奥野田村峯野保佑氏 自治制以前戸長ヲ勤メ又舉ケラレテ村長トナル、氏カ治跡上環道ヲ存セス、其敏腕ヲ見ルニ足ルヘシ、氏爲人方正、嚴直其ノ品行ノ如キ殆ンド瑕疵

五開村 山下幸太郎氏 幼ニシテ嚴父ニ離レ母ノ膝下ニ成育セラレタル人ナリ、氏或ル國ニ告ガテ曰ク國家ノ文筆ニ巧ナシ、其志操ヲ鞏固ナルト言行ノ二致又凡ソ以テ信用セズレニ下直ナル故言ヤ、冒險無謀ノ事ヲ斥ケ、循々然能ク村治ヲ圖リ、商業ヲ專ラシメ、氏有爲ノ壯年、余際目前ニ其將來ヲ見シトス

加納岩村中澤徳兵衛氏 曩者副戸長ヲ勤メ爾來村事ニ幹掌スル鮮少ナラズ、又舉ケラレテ村長トナリ、コトアリ、氏郷閭ニ勢力熾盛ニシテ、他ノ蠶食スヘキニアラズ、氏性剛邁、コトテ變故ヲ爲メ驚カス、學識才能村内ニ卓逸セル人ト云フテ可ナリ

五開村望月信英氏 戸長役場吏員タル數年克シ事務ヲ整理ス、氏夙ニ地方公共ノ事ニ熱心アリ、又何レノ政黨ニモ與セズト雖モ秩序ヲ守リ、徳義ヲ重シテ専ラ進取ノ主義ヲ探レリ

五開村樋口光豊氏 選ハレテ郡會議員トナレリ又先キニ村長タルコトアリ、村事ニ與カリテガアリ、氏ガ才智經驗ハ世人之レヲ知ル、全村ニ珍重セラル、人ナリ、氏ガ一新機軸ヲ顯ハシ村民ヲ益スル又何ゾ難トセンヤ、余輩刮目シテ他日ノ成績ヲ見ントス

五開村依田良太郎氏 久シク全村ノ吏員トシテ勤績セリ、相當ノ地位、名望アリ

時政治上ニ心ヲ傾ケタリト雖モ、今ハ實業ヲ以テ專ラトス、氏公平ヲ主トセラレ、城郭ヲ設ケズ又謙讓スル所ナシ淡々乎トシテ自己ノ意見ヲ表白スト云フ

五開村樋口竹次郎氏 温和ナルコト女子ノ如ク、丁寧、周到ナルコト老成人ノ如ク、寡言ニシテ、沈着ナリ、退歩スルガ如クニシテ進取ヲ講ス、知友又ハ村ニ變アレハ和解ニ勞ヲ取リテ東奔西走席殆ンド煖ナラズ、有爲ノ青年ナリ

五開村依田倉造氏 ハ農蠶ニ熱心ニシテ大ニ其ノ功ヲ奏セリ、氏温和ナレドモ、坐作進退ノ間自ラ侵スヘカラスナルノ風采ヲ有ス、又太々着實ニシテ屬望アリ

五開村依田戸右衛門氏 當時村長ナリ、精力忍耐ヲ以テ當ラヌンハアルヘカラストテ、三伏ハ炎熱又三冬ノ冱寒モ意ニ介セス、克シ事務ヲ怠ラサリ、氏ハ技術凡ナラサルハ疑ヒアルヘカラスト雖モ、何レカ長ニシテ何レカ短ナルカ著者之ヲ聞カス

五開村山下三平氏 村事ニ關係シテ見ルニキアリ、農商ヲ業トシ、氏質朴、頑陋、殆
シトナク、ナキノ形狀ヲ以テ事ニ當リ、其機敏ナルハ一種異様ハ觀アリ、亦奇人ナル哉

身延村片田辨治氏 明治六七年頃副戸長ヲ拜命シ、其後引續キ役場書役タルコト十年
ヲ越ユ、當時選ハレテ村長ナリ、自治ヲ保ツニ熱心ニシテ、人心ヲ鼓舞スルニ汲々
トシ、性篤實ナリ

身延村遠藤縁氏 明治十二三年ノ頃全村戸長ナリ以降村吏タルコト久シ、全村助役ハ
現ニ勤ムル所ナリ、雄辨ニシテ性質快活、愛ス可キ人ナリ

身延村佐野鶴太郎氏 容貌、坐作自ラ威嚴アリ、又大ニ才名ヲ轟カサントスル雄心ア
ルガ如シ、氏職越セリヌメテ、頗ル美ナリ、著者ノ野録ニ一塵其ノ峽中ノ天ニ聞ユル
ヲ金足ニテ録ス

中野村坂本誠訪松氏 明治廿二年頃選ハレテ村會議員トシ、全村ニ自治ヲ爲シ、
滑テ欠ク嫌アリ、氏ハ之レニ鑑セス、中立ニシテ、村治ノ進行ヲカム、小異ヲ見スレ
テ大同ニ懸ル、將來拮据擲掌力ヲ致スレバ贊助翼成スル者少カラサルヘシ

中野村高村實氏 曾テ戸長ヲ勤メシコトアリ、同二十年頃中野郵便局長ニ任ズ、氏ハ
自尊權威ヲ逞フシ人ヲ輕侮スルカ如キ癖アラヌ、其衆人ヲ待遇スルハ官吏、兒童ニ平
等ヲ以テス、民事ヲ處スルニ精勵、局外ニ立テ村ハ圓滑ヲ計畫ス、或ル自尊權威家氏ノ
篤行ヲ觀テ三省セサルヘカテス

中野村天野傳五右衛門氏 平野區ニ係ル維新以降ノ役務ハ斷續之ヲ帶ヒ、又村會議員
及區長ナリ、明治廿五年十二月村長ニ舉ラル、同村ハ或ル紛擾ヲ惹起シ、一時人心恟々
ス、氏村長トシテ以來行政機關ノ進行ヲ視ルテハ、蓋シ措置其宜シキ事得タル
ナラシカシ、性方正篤實、君子ノ風アリ

中野村天野與市氏 明治十六七年頃中野村戸長ヲ勤ム又村會議員ニ舉ケラレ、平野區ノ老成家トシテ尊敬セラル、氏ノ意見ハ能ク信憑ス、全村中信用厚シ、凡村ノ平和、公平ヲ慮ル

中野村高村盛造氏 舉ケラレテ村會議員トナリ、之レヲ辭シ又助役ニ選舉セラレ、學識經驗アリ、夙ニ後進ヲ提拔シ志ヲ公共ニ致ス、人望郷閭ニ遍シ克ク家政ヲ經理シ、實業主義ヲ取ル、知ラス氏カ村長タルノ日何レニアルカ

中野村長田盛次氏 其ノ容貌奇偉ノ象ナレト雖モ、亦寛厚温良ノ質タルヲ失ハス、學識、多才アル、其郷ニ名アリ、湖邊中錚々ノ人ナリ、今ハ謙遜自重ヲ主トスルモ、大イニ羽翼ヲ伸ヘテ敏腕ヲ揮フノ日ガカオシヤ

西湖村渡邊喜之氏 明治八年頃ニ村事ニ關係シ十六七年ニハ戸長ヲ拜命ス、其後之

辭ス、雖ニ村事ニ與カリテカアリ。分村後ハ助役アリ、其志ハ公共事業ニ篤シ、氏ハ議論家ニアラズ寡言者實ナリ、氏勤勉事ニ從ヒ其職ヲ盡セリ

豐富村石原量一氏 ハ世才家ナリ、是非ヲ辨スルニ鋭キ人ナリ、臨機、應變ノ措置ニ富ム、今日ノ友ハ明白ノ敵、只利是レ事トスルカ如キ輕躁家ナラズ、氏ハ眞コ素志ヲ徹底スルニ熱心ソ人ナリ毫末ノ難スヘキモノアランヤ

豐富村石原甚五右衛門氏 維新以降公共ニ心ヲ盡シ其蹟大ニ見ルヘキモノアリ、今ヤ又村長ニ舉ケラル、特ニ記憶力ニ富ム、氏ハ若實方正ヲ以テ村人ニ接ス、一言一慮、克ク行ハル、夙ニ公平ヲ保ツテ主トセリ

豐富村石原福太郎氏 選ハレテ郡會議員トナレリ、已往ノ經歷少シトセス、村ノ弊習ヲ革ムルニ孜メタルカ如シ、氏ヲ指シテ單ニ議論家ナリト評スル者アルモ決シテ輕躁

郷人ナレテ感服セシムルノ明快ナル卓説ヲ以テス、氏明治十二三年ノ頃ヨリ北巨摩郡
衙ニ職ヲ奉シテシカ辭シテ後牧畜ヲ以テ業トス其額千五百圓ニ昇レリト云フ

駒城村乙黒利右衛門氏 町村制ノ施行アルヤ全村長ニ當撰セラレ就職スルコト一ケ年
ノ常ニ勤儉ヲ主トシテ財産家ヲ以テ其地方ニ聞ユ、氏性義侠ニ富メリ

駒城村保坂亮吉氏 曾テ近藤義則氏ノ塾ニ修學スルコト數年、明治十五六年頃北巨摩
郡役所ニ職任シ又郡制施行ノ際郡會議員ニ舉ラレ爾來勤績、今日ニ至レリ氏夙志ヲ
公共ノ事ニ注グ

駒城村戸島市左衛門氏 當時村會議員ノ職ニアリ、其ノ節儉ト經濟其宜シキヲ得タル
ヨリ今ヤ巨多ノ財産家トナレリ其人ト爲リヲ稱センカ「慧ニシテ敏ナリ」ト云ハサルハ
カラス

下條村今福彌右衛門氏 明治八年ヨリ戸長ヲ奉職スルコト十年間廿二年自治新制ヲ布カ
ル、ヤ氏ヲ村長ニ推舉セントスルノ傾向アリシモ氏ハ感スル所アリテ斷然トシテ退讓
シ職教々導職トナリ教務上大ニ奔逸スル所アリシ、氏ハ着實順正ノ手段ヲ以テ不義ノ
風潮ヲ矯メシコトナカム

下條村古澤明雄氏 一挫折ニ因テ其節ヲ變シテ勢ニ阿ル者ナラシヤ百毀氏カ一身ニ累
集スルモ毅然屈セサルノ勇アリ、恆ニ地方同志ト俱ニ政治思想ノ煥發ヲ之レ務ム、氏
カ經歷ノ一端ヲ掲シレハ山梨縣巡查部長ニ明治廿年大泉小泉村聯合戸長ニ其廿三四年
ノ間駒井下條村長トナレリ

下條村廣島貞太郎氏 性質快濶ニシテ細事ニ拘泥セズ然レトモ其ノ衙ニ當ルトキハ意
ヲ注シ銳ナリ氏河原部外三村役場書役トナリ又助役ニ舉ラル、當時駒井下條組合村助
役兼收入役ヲ勤ム

盛里村谷内善兵衛氏 文政七年十二月一日ヲ以テ全村ニ生ル氏カ經歷ノ一班ヲ掲クレ
ハ明治初年ヨリ引續名主役ヲ勤メ又明治九年九月戸長拜命シ其十二年七月村會議員ト
ナリ尋テ議長ニ推サル、同十二年新政ノ實施アルヤ村長ニ舉ラル翌年八月退職シ全年
十月尙村長ニ再撰セラレ廿四年四月退職ス性資磊落ニシテ少事ニ拘泥セズ、笑語ヲ常
トシ且廉直ニシテ事務ニ親切ナリ村内ノ德望淺カラズ

盛里村前田大吉氏 慶應三年十二月ヲ以テ全村ニ生ル其經歷ノ一端ヲ記スレハ明治廿
三年二月舊谷村外二十ヶ村聯合村會議員ニ推サル、氏ハ農商務省西ヶ原蠶業試驗所ヲ
卒業シ毎歲本縣ノ雇傭ニ應シ蠶種檢査ニ從事セリ又廿三年七月村會議員ニ撰舉セラル
性濶濶ニシテ機敏ナリ

盛里村渡邊志平氏 安政二年四月生ル明治初年ヨリ(朝日馬場組)名主役ヲ勤メ明治九
年副戸長トナリ全十二年七月村會議員ニ舉テレ其十五年四月戸長ヲ拜命セリ同年村會

議長ニ推撰セラレ、性溫和ニシテ學オアリ其行ヤ方正ニシテ最モ義氣ニ富ム氏ニシテ
頑固ナル風儀ヲ一洗スルアラバ一層名聲ヲ博ガルナラン

永生村長田惣右衛門氏 先年戸長ヲ勤メ明治十二年ヨリ村會議員ヲ勤績スルコト八年
全廿三四ノ兩年舉テレテ村長トナレリ能シ事務ニ拮据勉勵シ其職任ヲ盡セリ恆ニ事ヲ
處スルニ深切ニシテ其心ノ清明光大ナル凡庸ノ及フ所ニアランヤ

永生村平井以貞氏 年三十三ニシテ其性ヲ問ハ、正直狹量ニシテ其胸中一點ノ邪心ナ
ク、又一點ノ餘裕ナシ即チ俗ニ所謂一刻ナル人ナリ、然レトモ果斷ノ勇ナシトセテ其
經歷ヲ視レハ明治廿四年助役ニ舉テレ今尙勤務中ナリ德望深キヲ以テ學識ト經驗トヲ
以テ村長タル期シテ知ルベキナリ

永生村小俣旭氏 明治十二年以降村會議員タルコト數年ニシテ又明治十六七兩年間戸

長ヲ拜命セリ、事ヲ處スル苟モ之ヲ疎漫ニ附スルカ如キ輕卒ノ斷アラズ、取捨緩嚴其度ヲ失ハサルハ氏ノ特色ナルカ如シ

禾生村中村以正氏 年五十四、明治五年區長ヲ奉職シ全十三年ヨリ五年間縣會議員ニ舉ラル又十八年ヨリ四年間戶長ヲ奉職シ村會議員等ハ數年ノ勤績ナリシ著實ニシテ有徳ノ君子ナリ

加納岩村武井芳長氏 天資剛毅頗ル耐忍ノ氣風アリ、維新前ヨリ氏カ盡シタル功績少ナカラス、先年戶長ヲ拜命シ當時又全村助役ニ舉ケラル、能ク緻密ナル觀察ヲシテ事ヲ處シ衆望ニ背カサリシ

加納岩村奥山榮壽氏 資性温良恭謙ニシテ主角ナシ、未ダ曾テ舊態ヲ嬾脱セサルノ嫌ナキニアラズト雖モ又時勢ニ通曉セサルニアラス經歷ノ一端ヲ揭シレハ舊制ノ當時區

長ニ又尋テ戶長ニ村長ニ舉ラル

加納岩村清水市右衛門氏 先考ヨリ農蠶ノ業ニ秀逸ノ名アリ就中農業上大ニ得ル所アリ己ニ或ル一種ノ名稱アルニ至レリ、氏元區長ニ縣會議員ニ舉ラル、常ニ和歌ヲ善クシ山梨岡神社ノ和歌集ヲ著シタリ

玉宮村野尻大助氏 酒造ヲ業トス、殖産興業以テ富源ヲ開發スルニ孜々タリト聞ク榛莽ノ地ヲ開墾シテ茶園ヲ得タルカ如キ其一班ヲ知ルニ足レリ、氏カ已往ノ經歷ハ戶長、村長、郡會議員、縣會議員、等ニ舉ケラル

大藤村三枝吉包氏 著者カ或ル人ニ問フニ氏ハ學力凡ナリト雖トモ異數ノ世才家ナリト云ヘリ、氏ノ經歷ハ戶長ニ聯合村長ニ亦縣會議員ニ進テ議長ニ舉ラレタリ、氏ハ美男子ナルモ婦女ヲ愛スルコトヲ知ラス

神金村田邊義信氏 資性温順ニシテ恭謙ナリ、彼ノ青梅街道開墾ノ舉アルヤ熱心以テ盡ス所アリ縣廳ヨリ賞與ヲ賜リタリ氏ハ淨瑠璃ヲ善クシテ

日下部村依田道長氏 夙ニ才氣ノ非凡ナルモノアリテ嶄然頭角ヲ顯ハセリ氏躬行實踐以テ後進ノ魁ヲシントスルモノ、如キ、氏カ風化ノ力少シトセンヤ、今經歷ノ一端ヲ揭シレハ元區長ニ戸長ニ又縣會議員ニ舉ラル、第二期衆議院議員撰舉ニ候補者トシテ起テ次點ヲ以テ敗ヲ取リシハ惜ム可シ

日下部村井尻源三氏 資性温厚ニシテ沈毅ナリ、勤儉ヲ專ラシテ家政ヲ整然タラシム氏カ門葉ヲ誇ルノ風ナク自讓ヲ主トスルハ蓋シ贊スヘキモノアリ氏ハ日下部直税分署ノ吏員タリシ餘暇農事ニ勉勵ス

後屋敷村古屋兵部左衛門氏 當時舉ラレテ全村々長ナリ其職務ニ屬精ナル其事務ヲ執

ルノ迅速ナル衆ヲシテ感服セシムルモノアリ郷閭ニ在テ豪農家ト稱セラレ

後屋敷村森茂美氏 温厚ニシテ俊才アリ、氏戸長ニ又村長ニ舉ラレ其他ノ公務ヲ帶ヒ十有餘年間勤績セリ氏郡會議員ニ當撰セラレ

七里村田邊有榮氏 國家ニ盡スノ大義ヲ認メ已往ニ實踐シタルノ事蹟ハ蓋シ郷閭ノ鼻祖トシテ紀念セザルヘカラザルモノアリ、氏カ經歷ノ一端ヲ掲ムレハ村吏タル數年ニシテ曾テ縣會議員ニ當撰セラレ進シテ第一期ニ衆議院議員トシテ國會議場ニ其椅子ヲ占ムルノ榮ヲ得タリ

七里村菊島生宜氏 曩者縣會議員トシテハ壯快ノ雄辨ヲ振ツテ斬新ナル透明ナル議論ヲ以テシ大ニ名聲ヲ博セリ、氏カ異常ノ卓見ト異常ノ膽力トヲ具ヘツ、小事ニ干與セス局外タルモノ、如キハ氏ノ氏タル所以ナランカ

日川村小野元兵衛氏 天資温良恭謙ニシテ敢テ主角ナレ氏ハ殖産ニ熱心ニシテ特ニ養蠶ノ業ニ心ヲ傾ケ辛苦經營其功ヲ奏シ飼育ノ方法其技術ヲ得郷閭ノ模範ヲ示セリ爲メニ賞狀賞品等ヲ受ルル事ヲ數フヘカラス今ヤ峽東ニ冠アリ

七里村廣瀬久政氏 幼ヨリ學ヲ好ミ又慷慨ノ氣象アリ氏地方ノ先進トシテ仰望セラレ奉ケラレテ縣會議員及郡會議員等トナレリ氏ハ特ニ養蠶ノ業ニ秀ス

休息村山中美發氏 縣會議員トシテハ透明ノ議論ヲ以テ侃々諤々憚ル所ナキヲ知ル氏夙ニ志ヲ公共ノ事ニ注ギ地方ニ名望アリ庭前ノ古松ト共ニ其地位ヲ保ツアランカ

小佐手村鶴田亮甫氏 先年美濃地方ニ遊フコト數年、當時陶器製造所ニ入ツテ曾テ管理者トナル優遇セラレ、モ辭シテ歸省セリ爾來漸々囑望セラレ村長ニ當撰セリ

菱山村三橋橋三氏 特立不羈公平ヲ維持シ常ニ地方公共ノ事ヲ慮リ又專テ自治ノ進行

ヲ沮遏セザランコトナカメ殆ンド席煖ナラス氏曾テ村長ニ舉ラル村人ノ氏ヲ尊敬スル豈故ナカランヤ

菱山村秦隆永氏 素ト僧侶タリシカ維新ノ際故アリ神官トナリ福地村諏訪社ニ奉仕シ祠官ト共ニ教職ニ從ヒ信用セラレタルモ辭シテ後菱山ニ居テ占メ蠶業ニ從事セリ

山村新田兵充氏 性資磊落奇偉ニシテ區々小器ノ容ル、所アラズ然レ共家政ヲ整理シ常ニ勤儉ヲ守ルハ殆ンド郷人ノ模範タルガ如シ

鶴瀬村土屋清作氏 資性温順能ク鞏固ヲ圖ル、氏人目ニ赫耀タルノ功勞ナキヲ以テ或ハ冷評ヲ下ス人ナキニアラサルモ、英敏細心以テ其任ヲ盡セリ

菱山村保澤金作氏 製糸ヲ以テ業トス氏ハ助役ニ舉ラレタルモ固ヨリ商ニ身ヲ委テテ

爲スアラントスルノ傾向アリ性質機敏ナリ

日影村渡邊隆資氏 酒造及質屋ヲ業トス幕府時代ハ本陣ノ稱號アリシ、曾テ全村戸長又村長ニ舉ラレ尋テ郡會議員ニ當選セラル氏ハ實ニ其地方ノ先覺者ナリ蓋シ衆望ヲ負フナキニアラザルナリ

勝沼村田中董作氏 吳服商ヲ業トス氏ハ政治上ニハ頓ト關心セス商ヲ以テ身ヲ立テントスルノ志氣勃々侵スヘカラサルモノアリ蓋シ學識經驗兼備シ百折不撓ノ精神ヲ抱テ氏カ商ニ志ヲ致ス又異數ト云フヘシ

七里村土屋孝定氏 曾テ皇學ヲ修メ大ニ得ル所アリ祠官中其地位峽東ニ名アリ、性磊落ニシテ敢テ小器ヲ容レズ然レトモ其職任ヲ全フセサルナシ、氏ハ大酒ヲ好ムモ酒癖ナキハ其氣質ノ再ナルヲ知ルニ足レリ

等々カ村小野九兵衛氏 養蠶ノ業ニ熱心ヲシテ蠶桑ノ不振者是ヲ勵ム以テ蠶桑ノ利ヲ助役トナリ能ク事務ヲ整理シ業盛ナリ

松里村武藤弘通氏 曾テ佛學ヲ修メ德義節操ヲ守リ特ニ善智識ノ名ニ背カサリ、氏ノ下ニ雲集シ氏ノ意見ヲ敬聞セムトスル者多キ故ナギニアスルナリ資性温厚人ナリ

田川村雨宮作甫氏 農業一途ニ其ノ志ヲ傾ケ炎暑沍寒ノ勞苦モ意ニ介セズ耕作業從フ氏ハ勉強ニ誰カ一驚ヲ喫セサルモノアラゾヤ

日川村志村權左衛門氏 藥種商ヲ業トス藥巴屋ヲ稱スル、資性純良事ヲ爲ス甚ダ勤實ナリ又頗ル耐忍ノ氣象ニ富メリ、常ニ地方公共ノ事ニ志厚シ

唯川村藤澤太兵衛氏 學識非凡ナルヲ以テ大ニ難モ後才ヲ以テ事ヲ當テリ、若長及

爲スアラントスルノ傾向アリ性質機敏ナリ

日影村渡邊隆資氏 酒造及質屋ヲ業トス幕府時代ハ本陣ノ稱號アリシ、曾テ全村戸長
又村長ニ舉ラレテ郡會議員ニ當選セラル氏ハ實ニ其地方ノ先覺者ナリ蓋シ衆望ヲ負
フナキニアラザルナリ

勝沼村田中董作氏 吳服商ヲ業トス氏ハ政治上ニハ頓ト關心セス商ヲ以テ身ヲ立テシ
トスルノ志氣勃々侵スヘカラサルモノアリ蓋シ學識經驗兼備シ百折不撓ノ精神ヲ抱テ
氏カ商ニ志ヲ致ス又異數ト云フヘシ

七里村土屋孝定氏 曾テ皇學ヲ修メ大ニ得ル所アリ祠官中其地位峽東ニ名アリ、性磊
落ニシテ敢テ小器ヲ容レズ然レトモ其職任ヲ全フセサルナシ、氏ハ大酒ヲ好ムモ酒癖
ナキハ其氣質ノ勇ナルヲ知ルニ足レリ

等々力村小野九兵衛氏 養蠶ノ業ニ熱心ニシテ專ラシノ振興ニ是レ圖レリ且又氏舉テ
レテ助役トナリ能ク事務ヲ整理シ衆望アリ

松里村武藤弘通氏 曾テ佛學ヲ修メ德義節操ヲ守リ特ニ善智識ノ名ニ背カサリシ氏ノ
下ニ雲集シ氏ノ意見ヲ敬聞セントスル者多キ故ナキニアラサルナリ資性温厚ノ人ナリ

日川村雨宮作甫氏 農業一途ニ其ノ志ヲ傾ケ炎暑夏寒ノ勞苦モ意ニ介セズ耕作ニ從フ
氏ノ勉強ニ誰カ一驚ヲ喫セサルモノアラシヤ

日川村志村權左衛門氏 藥種商ヲ業トス藥巴屋ノ稱アリ、資性純良事ヲ爲ス甚ダ著實
ナリ又頗ル耐忍ノ氣象ニ富メリ、常ニ地方公共ノ事ニ志厚シ

日川村藤澤太兵衛氏 學識非凡ナルニアラスト雖モ俊才ヲ以テ事ニ當レリ、戸長及ヒ

聯合村長ニ舉ケラレシカ今再村長ニ當撰セラル氏ケ百難ヲ斥ケ慨然獨自ノ旗幟ヲ樹テ
ントスルノ勇アリ氏ノ行動ハ美譽ノ潮流ヲ示スノ傾向アリ

日川村小野彦右衛門氏 性卓落ニシテ機敏、萬事ニ拔目ナシト謂フシカハ萬事
ニ心ヲ配ルト謂フノ傾向アリ、氏戸長ニ村長ニ舉ラレ一村ノ公務ニ與ル數年大ニ望ミ
カ屬セリ

日川村長坂福太郎氏 壯年ナレトモ大ニ異才ナ有シ百折撓マズ彼ノ輕躁浮薄徒ニ虛名
ヲ博スルカ如キ輩ヲ痛斥シ獨立ノ旗旌ヲ顯サントスルノ勇氣アルカ如シ、氏郡衙ニ職
ヲ奉セリ

日川村小野太一郎氏 幼ニシテ漢籍ヲ學ヒ進シテ某學校ヲ卒業シ頗ル得ル所アリ、氏
能ク後進ノ徒ヲ提掖シ進化セシムルノ氣象ナキニアラズ他日政事權上ニ立テ取爲ス

人ナラソカ

清野村田中淺矩氏 能ク先考ノ綱紀ヲ維持シテ其ノ威信ヲ失ハズ德義節操ヲ重カラシ
ムルノ一事ハ蓋シ泛々ナル風骨ニアラサルヲ知ルニ足レリ、氏ハ屢々一村ノ公務ヲ帶
テ

相興村早川義道氏 舉レテ本村助役兼收入役トナレリ常ニ勤農ニ勵精シ、又養蠶ノ
業ニハ尤モ練達セリ能ク節儉ヲ守リ家政ヲ整理セリト云フ

盛里村小俣茂三郎氏 天資恭順謹慎ニシテ輕卒ニ雌雄ヲ争フカ如キハ氏ノ欲セサル所
ナリ、今經歷ノ一端ヲ記スレハ明治十二年七月村會議員ニ尋テ副議長ニ舉ラレ全廿一
年盛里、三吉、開地聯合村書記トナリ全廿二年八月助役ニ又廿五年二月村長ニ當撰セラ
レ廿六年一月退職セリト云フ、氏ハ機敏ト云ハシヨリ熱心ト云フテ可ナラソカ

三吉村牛田八郎氏 明治五年以降屢々公務ヲ帶ヒ全十三年縣會議員ニ舉ラレ又全廿四年中郡會議員ニ當撰セラル、又氏ハ米國ノカカ府大博覽會委員ニ撰ハレ當時赴任中ナリ資性剛毅ナルカ如シ

三吉村牛田唯一氏 明治廿一年三吉、盛里、開地聯合戸長拜命自治ノ新制ヲ布カル、ヤ全村長ニ舉ラル廿四年退職シ廿六年八月郡會議員ニ推撰セラレタリ其性ヤ沈毅其行ヤ方正ニシテ尤モ義氣ニ富メリ

三吉村小林一光氏 明治十三年役場書記ヲ勤メ全十五年辭ス十七年以降郡衙ニ職ヲ奉スル數年ニシテ全廿五年中三吉、開地、聯合村助役ニ舉ラレ全廿六年辭職セリ氏性慎沈ニシテ大度アリト云フ

盛里村清水鬼一氏 慶應元年五月九日ヲ以テ生ル資性活潑ニシテ小器ヲ容レスト雖ト

モ其ノ爲メヘキノ局ニ當テハ櫛風沐雨ヲ厭ハズ東奔西走其勞ヲ取ルト云ハリ、氏明治廿一年以降役場書記ニ收入役ニ谷村外二十ヶ村聯合村會議員ニ郡會議員ニ各撰拔セラレ實ニ地方多望ノ人ナリ

三吉村牛田密太郎氏 天真爛漫ニシテ瑕瑜悉ク掩ハサルノ風アリ氏ヲシテ斯クノ如クナラズメタル者ハ何ソヤ氏ハ明白ニ自信スル所ナリギ氏曾テ村會議員ニ蠶業組合議員ニ其他ノ公務ニ舉ラル

三吉村志村長兵衛氏 獨立不羈ニシテ自ラ信スル鼓ヲ鳴ラシ自ラ信スル旗ヲ樹テ以テ敵ト味方トヲ明ニスルノ人ナルカ如シ、明治十二年以降斷續村會議員、衛生委員、三村聯合役場書記、蠶業組合員等ニ舉ラレタリ

開地村小野照良氏 辨才アリ又世オアリト云ハシヨリハ大局ニ當テ毅然動カザルノ氣

象アリト云フテ適センカ、氏ハ明治五年頃ヨリ多ク一村ノ公務ヲ勤メ事務ニ練熟セリ

開地村大津賀治郎氏 先年戸長ヲ拜命シ又自治ノ新制ヲ布カル、ヤ舉ラレテ郡會議員トナリ廿六年二月村長ニ當撰セラル、今ヤ縣會議員ニ撰出セラレタリ、氏剛毅ニシテ氣慨アリト此言實ニ其真相ヲ得ルカ否ヤ著者刮目シテ異日ヲトセン

開地村奥脇敏郎氏 實直ニシテ温順ノ評アリ、然レトモ其言論諱避スル所ナク事ヲ執ツテ怠ラス故ニ屬望少カラサルナリ氏屢一村ノ公務ニ與ル

明見村宮下佐平氏 明治五六年頃戸長ヲ拜命シ其八年大明見小明見村副戸長ヲ拜命セリ氏夙ニ公共ノ事ニ志篤シト云フ

明見村桑原瀧平氏 曾テ明治五六年ノ頃副戸長ヲ拜命シ又學校ノ新築アルヤ之レキ力

ナ盡セリ、常ニ善行ヲ表シ力農ヲ賞スルニ云フ

明見村武藤光泰氏 温諒寡言ニシテ德育ニ富メリ氏カ經歷ノ一端ヲ掲シレハ明治八年中明見副戸長ヲ拜命シ全十一年辭ス全十二年中村會議員ニ舉ラレ全十六年中戸長ヲ拜命シ十八年八月辭シ又全廿五年中郡會議員ニ當撰セラレ廿六年中辭職セリト云フ

祝村前田孫兵衛氏 文筆ニ巧ナラスト雖モ膽力ヲ具ヘ志操ノ鞏固ナルト百般言行ノ一致スルトナリテ信用セララル

祝村高野正吉氏 葡萄酒醸造ニ熟練シ故ニ他縣ニ有志者ニ傳習セシメト屢々ナリ氏ハ村長ニ推サル、モ其職ニ就カス商ヲ以テ業トス又能シ圍基ヲ好ム

根興村廣瀬鶴五郎氏 幼ヨリ孝順ヲ以テ早ク郷黨ニ名アリ氏又某氏ノ門ニ入りテ漢籍

本學は大ニ得ル所ナリ、其後、其國ノ大業ニ基キ國利民福ヲ増進セシムルニ依テ其志ヲ
暴客ノ壓ニ傲ハシテ、舉ラレテ村長又ハ縣會議員ニ當撰セラル

石和村八田虎太郎氏 資性温厚、志ニ夙ニ改進黨主義ヲ執リ、明治三十七年山梨縣會議
員ニ舉ラル、氏、尚ホ壯學甚ク博シ、當時頗リニ政治上ノ事ニ心ヲ傾シ、ト云ヘ、異日
大ニ國家ノ爲メニ盡カル、ヤ蓋シ期シテ待ツヘキナリ

石和村八田政甫氏 曾テ氏ノ抱持スル意見ヲ聞クニ遠望深慮沈重ニシテ又頗ル新奇ナ
ク、氏ハ非難ヲ受ル、然レモ、氏ハ其美ヲ、其勤ニ足ラズ、氏ハ性堅忍不撓、事ヲ公利公益ニ志
ス、曾テ同村林長ニ舉ル、其適任ナラシカ

南八代村古屋三郎氏 資性沈毅ニシテ寡言ナリ、才學兼備シ、常ニ郷關ノ弊根ヲ醫シ、
事ヲ革新シ、進歩ヲ思ヒ、其國ノ公益ヲ利害ニ意ヲ注シ、其志ヲ勉メテ、其志ヲ成ラシメ

如シ氏曾テ斷續村事ニ關與シ、尋テ郡會議員ニ舉ラレ、明治廿六年村長ニ當撰セラレ、氏山
梨縣會議員ニ躍出シテ縣下ノ爲メニ盡ス所アラントスル蓋シ、期シテ知ルベキナリ

七保村小泉景義氏 先人ノ遺業ヲ繼キ、醫ヲ以テ業トス、醫學上ノ經歷大ニ見ルヘキモノ
アリ、且勉拮据醫術ノ進行ヲ圖リ、又患者ニ接スルニ特ニ丁寧ヲ主トセリ

明見村舟久保治郎兵衛氏 明治五年以來氏カ斷續盡シ、了リタルノ功績蓋シ、少シトセザ
ルナリ、性資敏捷ナリト云ヘリ

黒駒村笠間照太郎氏 某學校ニ入テ英學ヲ修メ、後テ漢籍ヲ學ビ、大ニ得ル所アリ、尚
壯ニシテ經歷ノ記スヘキ少シト雖モ、蓋シ憂世慨國ノ志氣往々發シテ金玉ノ聲ヲナセリ

瑞穂村田邊以節氏 精勵刻苦氏カ少壯ヨリ勉學ノ志勃々侵フヘカラサルモノアリ、漸

ノ業此ニ成テ而シテ今日ノ地位アル蓋シ醫僚中ノ先率タルモノアリ、郷閭中醫術上氏ノ如キ信用ヲ博スル容易ノ業ナランヤ

桂村高尾章氏 醫ヲ以テ業トス醫術上ノ成績ハ或ハ凡ナリト雖モ其患者ニ接シ懇篤著實ナルヲ以テ病者氏ノ許ニ雲集セリ

鹽崎村土橋源太郎氏 明治七年ヨリ八年迄副戸長ヲ拜命シ又後村會議員トシテ勤績スルコト數年ナリ能ク舊陋ヲ蟬脱シタリ

江草村篠原東三郎氏 酒造ヲ以テ業トス氏曾テ村會議員又ハ助役ニ當撰セラレタレコトアリ性異率有徳ノ君子ト云フヘシ

黒駒村坂本直次郎氏 性慎沈ニシテ大度アリ理財及ヒ交際ノ道ニ長セリ又蓄積ヲ成シ

常ニ政論ヲ好ム之レヲ志當兼有ノ人ト云ハスレテ何トカ云ハシ氏夙ニ蠶業ニ志シ大ニ得ル處アルカ如シ

穗坂村藤森清知氏 自治ノ新制ヲ布カル、ヤ舉ラレテ村長トナリ事務ニ罷勉ノ聲アリ氏ハ世才家ト謂ハスレテ若實方正ト謂フテ可ナランカ村内ニ老成ヲ以テ稱セラル

大草村秋山庄助氏 性質快濶細事ニ拘泥セズ然レトモ事務家ヲ以テ名アリ全村長タルノ手腕ハ慥ニ之レアルヘシ明治十一年以來戸長ニ村會議員ニ又北巨摩蠶業委員ニ舉ラレ其廿二年八月全村々長ニ當撰セラレ今尙勤務中ナリ

龍岡村千野林藏氏 其才氣ト學識トヲ以テ豈施爲スル所ナカランヤ乞フ著者聊カ氏カ經歷ノ一端ヲ摘載スレハ明治六七年間戸長ヲ其八年第廿三區々長ヲ拜命シ全十二年北巨摩郡長ニ任セラレ十八年病ヲ以テ辭セリト云フ

大草村土橋松太郎氏 村内ニ篤實家ヲ以テ稱スレハ衆多ク其人ナルヲ知ル曾テ村會議員又ハ助役ニ舉ラル

垂崎町牛山政運氏 異才ヲ抱テ事ヲ處スルノ敏ナラサルナキハ郷閭ノ認ムル處ナルカ如シ、氏カ數年ヲ出テスレテ今日ノ輿望ヲ負フニ至ル豈偶然ナランヤ、明治廿四年郡會議員トナリ又茲ニ十月ヲ以テ縣會議員ニ撰出セラレタリ

大草村矢崎宇三郎氏 明治八年戸長トナリ全十一年辭職シ全十六年十月再ヒ戸長ニ任セラレシコトアリ性寡言ニシテ沈着ノ人ナリ

龍岡村千野周三氏 天性剛毅活潑ノ人ナリ幼ヨリ人ヲ救恤スルノ念アルヲ以テ氏ヲ景慕ス然レモ少カラス、明治十九年戸長トナリ十九年職ヲ罷メ全廿六年村長ニ當撰セラレシ希望淺カラス

穂坂村大柴信廣氏 ハ其ノ非常ナル勢力ト鋭敏ナル才氣トヲ以テ裁理流ル、カ如ク翰筆揮フ飛フカ如クナリ風采ニ至テハ蓋シ察スヘキモノゾリ氏明治十六七年頃官撰戸長トナリシコトアリ、當時某登記所員タリ

穂坂村曾唯正資氏 夙ニ地方公共ノ事ニ志ヲ傾ケ前年某村ニ官撰戸長奉職中、如キハ教育ニ衛生ニ將テ勸業ニ意ヲ盡シテ宣ナリ地方ノ人民カ望ヲ氏ニ屬シテ已マルヤサ、氏又數年郡衙ニ職ヲ奉セリ

穂坂村横森喜一郎氏 明治二十三年ヲ以テ郡會議員ニ公撰セラレタリ漫ニ氏ヲ辨難スル者ナキニアラサルモ氏ハ方正謹直常ニ德義ヲ守レリ地方希有ノ人ナリトイヘリ

旭村中込勘作氏 明治二十二年曾テ村長ニ舉ラル全廿四年職ヲ罷メタリト氏ハ學識卓絶ニアラス又世判ヲ以テ鳴ラズト雖モ常ニ不偏公平ニシテ職任ヲ盡ス人ナリ

旭村小野倉右衛門氏 前年副戸長ヲ拜命シ尋テ戸長トナレリ氏ハ事務家ニアラズ學力
透逸ナルニアラズト雖モ世才家ニシテ機ニ臨ミ變ニ應ズルノ人ナリト或人ハイヘリ果
シテ眞哉

大草村保坂直光氏 前年郡役所書記ニ任用セラレ又縣會議員ニ撰出セラレタルコトア
リ河原部村戸長又ハ村長ニ公撰セラレ北巨摩村長中古顔ニシテ錚々ノ名アリ特ニ事務
ニ練達セリ

龍岡村堀川瀨平氏 性温諒ニシテ寡言、只管農事ニ勵精シ區々ナル陋弊ノ根抵舉テ剷
除スルニ孜々タリ氏ニ對シ一怨言ヲ出スモノナキハ問ハズシテ其清廉察スヘキナリ、

龍岡村千野直一氏 前年戸長又ハ役場書記ニ任用セラレ明治二十二年八月村長ニ當撰
セラレ本年七月職ヲ辭セリ氏ハ事ニ當リ勉勵セル凡ナラス其全心ヲ其所ニ一注セリ氏

ハ謙遜ヲ主トセルモ地方議會ノ議員タルモ相當ノ手腕アルモノ、如シ

八日町丸茂文哉氏 醫術ヲ研究シ大ニ得ル處アリ特ニ産科婦人科ニ妙ヲ得該患者氏ノ
許ニ蟻集シ來リ丸茂先生ニ限ルト愛慕セラレ、蓋シ氏ノ有徳ト云ハシヨリ氏ノ醫術凡
ナラサルニ由ルト斷評ス

松里村成田敬爾氏 青森縣ノ士族ナリ齡尙幼ニシテ醫學ニ志シ數年ノ間苦學研磨其ノ
功ヲ奏シ今日ノ名醫今日ノ衆望アルニ至リシモ豈偶然ニアラサルナリ今ヤ其經歷杯長
々書キ立ツルノ要アルヲ見ス

大井村大久保盛氏 數世醫ヲ以テ業トス氏又幼ヨリ醫學ヲ修メ大ニ得ル所アリト蓋シ
氏ハ經驗ニ富ミタル醫トイフヘキカ、患者ノ貧富ヲ判シテ待遇ヲ異ニスル醫トハ殆ン

ト天淵ノ差アリ

龍岡村千野六郎氏 先年戸長又ハ縣會議員ニ公撰セラレタルコトアリ氏ハ獨得ノ旗鼓
正々ニ堂々門壇ヲ立テ、彼此ヲ割リ其ノ趣好ノ宜キヲ取リ又特ニ方正ノ人ナリ

穂坂村平賀富久氏 曾テ舉ラレテ村會議員タルコト數次、明治十八九年頃役場書記ニ
任用セラレ又助役ニ推撰セラレタルコトアリ氏ハ能ク自他ノ事ニ周到緻密ヲ以テス

穂坂村志村眞平氏 資性温厚篤實ニレテ又侵スヘカラサルノ威嚴アリ氏ハ夙ニ地方公
共ノ事ニ志ヲ傾ケ能ク其ノ勞ヲ取ルニ吝ナラサルナリ

止手村三井彌吉氏 資性活潑ニレテ剛毅ナリ慨然トシテ其達スル所ニ達シ到ル處ニ到
リテ止ムノ志ハ蓋シ他ノ侵スヘカラサルモノアルカ如シ氏公共ノ事ニ心ヲ盡スヤ切ナ

中田村細田源治郎氏 明治十九年ヨリ中田駒井穴山聯合役場書記ニ任用セラレ又自治
制ヲ布カル、際中田村長ニ當撰シ全二十六年八月辭職セリ公共ノ爲メニ力ヲ盡ス者北
巨摩中其人ニ乏シカラス然レトモ氏ノ如キ篤志家ハ稀ニ見ル所ナリ

上手村大芝伍平治氏 ハ事務家又世才家経験家ヲ以テ郷關ニ聲ニ氏カ村長ニ舉ラル、
ヤ能ク其任ヲ全フセリ、宜ナリ村民カ氏ニ望ミ屬シテ已マサルヤ

中田村細田福秀氏 明治二十六年八月村長ニ當撰セラレ氏ハ雄辨ナラス又活潑ナラス
ト雖モ沈慎事ヲ措置シ常ニ一村ノ圓滑ニ進行スルヲ是レ圖レリ

中田村小宮山政氏 天資英敏ニシテ敢テ小事ニ拘セズ大寬人ヲ容ル氏又事務ヲ善シス

小笠原村深澤正一氏 若年銳氣達俗ノ風アリ寬嚴其度ヲ失ハズ緩急其機ヲ得、能ク其

抱負スル所意見ヲ完フセリト氏不鳴ノ雞ヲ烹ルアラントスルノ勇ナカランヤ

菲崎町百瀬誠一郎氏 曾テ村郡會議員ニ又山梨縣會議員ニ撰出セラレタルコトアリ、
全村ノ有志等ト相提携シ専ラ公利公益ヲ慮レリ

菲崎町小林七郎氏 明治十二年以來氏カ盡シタルノ事蹟少シトセズ往年郡衙ニ職ヲ奉
シ尋テ縣會議員ニ公撰セラレタルコトアリ郡會議員ニ舉ラル、氏ハ深ク感スル所アリ
實業ヲ以テ國運ノ万一ヲ裨補セント期スルモノ、如シ常ニ公益ヲ計レリ

旭村堀内政平氏 明治六年副戸長トナリ後村會議員タルコト數年ナリシ全二十四年中
助役ニ當撰セラレ勤務中ナリ極メテ正實極メテ嚴正ノ人ナリ

旭村小野清太郎氏 明治十二年學校幹事ナリ、村會議員又ハ戸長トナリシコトアリ其

十五、六兩年間縣會議員ニ舉ラル氏ハ和歌俳諧ヲ善クス

旭村花輪仲三氏 舉ラレテ村會議員タルコト數年尋テ郡會議員ニ又本年縣會議員ニ當
然セラレタリ、當時村長就職中ニシテ頗ル名望家ナリ、夙ニ自郡地方ノ小利益ヲ犧牲
トシ縣下全体ノ利害ヲ講スルモノ、如シ

旭村米山長十郎氏 其氣慨剛毅ニシテ清廉雪ノ如クナリ、其ノ志操ノ堅固ニシテ變ラ
サルハ磐石ノ如シ其言行前者ニ異ナラサルヲ知ル豈氏ニ望テ屬スル多キ偶然ナランヤ

旭村鈴木政有氏 能ク名節ヲ重ヌル獨立獨行ノ人ナリ氏戸長其他ノ公務ヲ勤ム氏ガ夙
ニ其非ヲ悟リ是ヲ納ル、ニ憚カラサルハ實ニ稟性ノ美德ナリ

國立村蘆原五郎右衛門氏 齡尙婿盛リノ人ナリ自治ノ新制ヲ布カル、際舉ラレテ助役

トナリ本年改撰ヲ以テ職ヲ辭セシモ再撰セラレタリ、學ヲ某ニ受ケ、蘊奧ヲ究メ、事務ヲ精勵ス

國立村岩間兼五郎氏 賦性敏達、和漢ノ學ヲ修ム、能ク事務ヲ辨シ、毫モ踉蹌スル所ナク、宜ナリ、氏ヲ村長ヲラシメントスルノ評アルヤ、多望ノ人トシテ著者異日ヲ卜セン

國立村金子俊助氏 幼ニシテ深沈、大志アリトカ、顯悟學ヲ好ミトカ、書クヘキナレトモ、氏ハ左ル向キノ人ニアラズ、シテ專ラ養蠶ノ業ニ熱心ノ人ニシテ、實直ノ評アリ

國立村深山彌一郎氏 資性英邁、不羈ニシテ、又愛情ニ富ミ、其ノ抱持スル政治上ノ意見ハ、勃々禁ホヘカフサルモノアリ、氏ノ人ニ接スルヤ、常ニ懇切ニシテ、温手ナリ

錦村河野陳平氏 明治二十三年郡會議員ニ舉ケタル、又區長等モ勤務中ナリ、氏、善ク

「名老練」ノ號アリ、常ニ公共ノ事ニ志厚ク、郷黨中出藍ノ譽アル人ナリ

國立村深山元四郎氏 幼ニシテ、恭勤夙ニ、郷校ニ入テ、書ヲ讀ミ、學業駁々等輩ニ越絶シ、郷黨ノ望ヲ荷フ、氏、村會議員タル數年ニシテ、明治二十三年郡會議員ニ舉フル、氏ノ見識時流ニ卓絶スルヲ見ル

錦村小澤文平氏 明治十年ヨリ、全十五六年迄、戸長ヲ勤メ、町村制ノ實施アルヤ、舉ラレテ、全村長ニ當撰セラレタリ、稟性硬直、深沈、其自ラ奉スル清廉潔白、固ヨリ世間滔々利ニ趨キ、勢ニ就ク、輕佻輩ノ匹儔ニアラズ、村人ノ氏ヲ敬慕スル、太ク切ナリ

増田村丹澤庄三郎氏 資性率直、人トナリ、華奢ヲ喜マス、名利ニ淡ナリ、粗衣粗食、夷然之ニ安シ、ズ、夙ニ村内ノ遠流セル弊習ヲ蠲脱シシメ、自治ノ新機關ヲ漸進セント、孜々タルモノ、如シ、齡尙壯、氏カ不鳴ノ雞ヲ烹ルアラントスルノ壯舉アルヤ、期シテ待ツヘキナリ

大河内村鮎川伊兵衛氏 天性篤實謙和ニシテ能ク窮困ノ者ヲ救フ故ニ大イニ人望アリ
今現ニ村長タリト云フ氏ハ年耳順ヲ過ギテ矍鑠壯年ノ者ノ如シ人其ノ健啖ニ驚カザル
ナシ

大河内村望月安則氏 明治十八年ヨリ同二十二年迄村役所ノ書記ヲ勤メタリ氏ハ實業
ニ熱心ニシテ尤モ養蠶ニ勵精セリ性沈黙莊重ナリ將來有爲ノ人ト云フ可シ

大河内村望月朝暉氏 天資正直廉潔ナリ曾テ村會議員トナリ明治二十四年ヨリ同二十
六年迄村長トナレリ氏ノ長ズル所ハ事務ニ敏達ナルニアリ

大河内村松野彌三郎氏 明治二十年中ヨリ村役場書記ヲ勤ム性沈黙ニシテ學ヲ好ミ叔
父木内信春君ノ風アリ其村役場ニ勤ムルヤ暴風大雨ト雖モ一日モ怠リシコトナレト云
フ氏勤勉忍耐ナルハ蓋シ天性ニ出ル者ニシテ他人ノ決シテ企及スベキニアラザルナリ

大河内村片田貞治氏 曾テ村會議員トナリ村制執行ノ際ニ村長トナレリ氏天資温厚篤
實ニシテ君子ノ人ナリ事ニ臨ンデハ議論風生シテ當ル可ンズト云フ

大河内村佐野美儀氏 明治十八年中ヨリ役場ノ書記トナリ同二十五年七月村會議員ト
ナリ拮据大イニ心力ヲ事務上ニ竭ス又製絲會社ヲ設立シ現ニ之レカ長タリ天性活達敏
捷シテ忍耐力アリ

大河内村伊藤政八郎氏 年齒既ニ耳順余ニ達スト雖モ壯心勃々トシテ自ラ抑遏スル能
ハサルノ狀アリ君曾テ吾ノ山梨縣ニ大小切ノ騷動アリシヤ其偵邏トナリテ賊狀ヲ探リ
大イニ功アリ又自村ニ學校ヲ新築スルヤ拮据盡瘁シテ其効績頗ル多シ因テ銀盃及ヒ木
盃ヲ賜ハル君今ヤ勇退シテ風月ニ吟嘯スト云フ

寶村小林文左衛門氏 明治十四年中戸長ニ舉ケラレタルコトアリ今現ニ村長タリ君天

資温利能ク衆望ヲ獲アリ

寶村矢島戸左衛門氏 明治十二年中戸長ニ舉ケラル今村會議員タリ善ク公共ノ事業ニ熱心奔走シテ從事セルヲ以テ衆人ノ君カ令徳ニ服セル者多シ

富士見村林平三郎氏 天資沈深寡言ニシテ義氣アリ明治二十四年助役ニ撰舉セラレ居ノ郷里ハ水邊ニアルヲ以テ治水事業ニ焦心苦思シテ殆ント其寢食ヲ忘ル、ニ至ル君ノ累代村役人ニラサル者ナレ故ニ衆人ノ欽仰スル最深ト云フ

小笠原村進藤吉孝氏 或人ハ氏ヲ村長ニ推撰シテ可ナリト云ヘリ又已往ノ經歷ヨリ推スモ或ハ早晚同村ニ村長トナラン知ルヘキナリ

小笠原村進藤治郎氏 郷閭ニ事務家トシテ錚々ノ名アリ又經驗家トシテ錚々ノ聲アリ

學才カアルトシテ錚々ノ説アリ着實方正トシテ錚々ノ評アリ故ニ明治二十三年全村々長ニ當撰セラル、モ固ヨリ當然ノ人ナリ著者モ氏ノ伎倆アルハ早々ニ知レリ

中田村進藤九兵衛氏 天性豪宕小事ニ區々タラス特ニ人爵ヲ貪ルノ心ナク他ノ卑劣ヲ見テハ一笑ニ附ス其行ヲ見レハ正直、常ニ徳義ヲ重ニス年七旬尙矍鑠タリ

駒井村上野八平氏 雄辨家ニシテ又才學兼備シ明治十七年三村聯合戸長ヲ奉職シタリ其他斷續公務ヲ帶フ村人ノ徳望アリ

鷺見村細田文造氏 先キニ山梨縣會議員ニ撰出セラレタルコトアリ又全明治二十三年村郡會議員ニ舉ラレ大ニ氣焰ヲ吐キタリ氏夙ニ蠶業ヲ獎勵セリ

久那土村深澤市太郎氏 資性頗フル温厚ナルニ似ス事ニ臨テハ斷乎トシテ動かスヘカ

ラサルノ氣慨アリ氏カ粗衣粗食ニ安シ小事ニ拘ラサル風采、洵ニ遠望ノ異才子ト云フヘキカ氏齡尙壯ナリ異日政治壇上ニ躍出スルノ人ナラン

錦村野田義一氏 曩者東八代金川社ノ社長トナリ又全郡濟通社長タルコトアリ氏ハ夙ニ養蠶ノ業ニ熱心拮据シ大ニ得ル處アルカ如シ常ニ公共ノ事ニ傾注セリト云ヘリ

錦村風間四平氏 性卓落ニシテ且ツ機敏萬事ニ抜目ナキト謂ハシヨリハ寧ロ萬事ニ心ヲ配ルト謂フノ傾キアリ著者ヲシテ氏ヲ評セシメハ學者ト云ハシヨリ筆ロ實務的ノ人ト云ハント欲ス明治廿三年助役ニ當選セリ

英村岩間忠祿氏 明治二十二年八月全村々長ニ當選セラレ翌年郡會議員ニ舉ラル氏爲人醇厚篤實ニシテ友愛ノ情ニ厚ク又胸中澹泊德音雍々トシテ大ニ人ノ爲メニ望ヲ屬セラルト云フ

錦村細野善左衛門氏 明治二十二年舉ラレテ全村々長及郡會議員等ニ當選シ全二十四年中辭職セリ氏ハ明治ノ初年ヨリ公共ノ事業ニ盡シタルノ蹟蓋シ少シトセサルナリ

富士見村青柳彌氏 天性活潑剛毅ナリ現ニ村會議員タリ氏ハ言論痛切往々人ノ感服スル所トナルト雖モ或ハ矯激ノ云爲アリ故ヲ以テ之ヲ譏議スル者少カラズ惜ム可キ哉

富士見村小石壽三郎氏 父ヲ傳十郎君ト曰フ財政頗ル衰フ氏ニ至テ漸ク家政ノ裕ナルヲ致ス氏當時村會議員タリ人トナリ温和謙虛ニシテ忍耐力アリ

富士見村石井兼太郎氏 明治十五年中ニ大坂府ニ赴キ巡查ヲ奉職ス辭シテ郷里ニ歸リ村役場ノ書記ニ舉ゲラル氏性強記ニシテ能書ノ名アリ

英村赤尾協氏 性温厚篤實ニシテ人ニ交リテ信義アリ專ラ意ヲ實業ニ傾注スルト云フ

永井村小林茂三郎氏 明治二十五年中村會議員ニ舉ゲラルル同二十六年組合議員ニ選舉セラル其性沈着ニシテ温和ナリ能辨ノオアリト云フ

明見村武藤義雄氏 當時村會議員徵兵參事員地押調査惣代タリ氏ハ尤モ殖産事業ニ熱心ニシテ其効績少カラズ性雄辨ニシテ衆人ノ敬畏スル所トナル

明見村梶原喜左衛門氏 曾テ助役タリ其經歷尤モ見ル可キ者多シ君ハ事務ニ熱心拮据シ人望アリト云フ

明見村羽田喜博氏 現ニ助役タリ學術アリ筆算ヲ善クス其勢力殆ソド役場ヲ壓倒スト云フ

明見村舟久保庄太郎氏 明治三十四年本縣師範學校ヲ卒業セリ今マ明見尋常小學首座教員タリ天資溫和謙虛ニシテ生徒ニ對シテ諄々トシテ倦マズ故ニ其薰陶ニ化シテ良生

徒輩出スルノ狀アリ

明見村桑原英成氏 其奇特ノ行ヒ尤モ多シ公共ノ爲メニ義捐金ヲナス數回ニ及ブ故ニ其賞狀若干ナリト云フ君性質直ニシテ美衣佳膳ヲ好マズ儉節家ヲ治メ又衆ノ驕侈ヲ戒メ諄々トシテ怠ラス今マ權大講義タリ

谷村河口善之助氏 天資温厚英敏ニシテ學ヲ好ム明治廿年中ヨリ始メテ縣會議員ニ舉ゲラル同廿四年郡會議員トナル今マ村長ニ任セラレテ頗ル事務家ノ名アリ氏ハ南鶴郡中壯年有爲ノ政治家ニシテ望ヲ屬スル者尤モ多シト云フ

谷村横山吉朗氏 天資篤實ニシテ義氣アリ故ニ村中ノ衆望ヲ殆ソド氏ガ一身ニ撥ムル者ノ如シ明治廿四年中郡會議員ニ選舉セラレ又同年中所得稅調查委員ニ任セララル氏ハ同郡中ニ於テ他日縣會議員ニ推薦セント望ミテ屬スル者最モ多シト云フ

谷村山崎三左衛門氏 明治十八年中南鶴郡東部蠶糸業組合長ニ選任セラル同廿六年郡
會議員ニ舉ゲラル天性温和公平ノ人ナリ

谷村鈴木孝三郎氏 明治十四年中郵便局長ヲ命セラレ同廿二年ニ至リ村長ニ選舉セラ
レタルモ固シ辭シタリト云フ其人望ノ屬スル所ノ如何ハ擬推ス可キナリ

谷村石井權十郎氏 明治廿二年村會議員ニ選舉セラレ又同年中助役ニ選舉セラレタリ
氏ノ性謹直縝密ニシテ器ホ筆算ニ達シ事務ニ長セリ

日川村松本兵武氏 商ヲ以テ業トセリ氏性義俠ニ富ミ人ノ依囑アルニ遇ヘハ之ヲ拒絕
ナルコトヲ爲サス故ニ人望少カラスト云フ又氏ハ雄辨家ナリ

日川村三井眞齊氏 醫ヲ業トス某所ニ於テ醫學ヲ修メ螢雪ノ苦空シカラスト云ヘリ赤

貧ノ患者アルトキハ多少無料ニテ施療スル等ノ美舉屢々ナルヲ以テ衆望日ニ盛ニシテ
殆ント門前市ヲ爲セリ

日川村志村勘兵衛氏 酒造ヲ業トス有名ナル巴屋ノ號アルハ即チ氏ノ家ナリ氏性慎沈
ニシテ大度アリ理財及ヒ交際ノ道ニ長セリ又夙ニ公共ノ事業ニ傾注セリト云ヘリ

盛里村杉本彌重氏 天資温和ニシテ篤實ナリ氏ハ學識ヲ以テ俊幹ヲ以テ世ヲ處スルモ
ノニアラス常ニ德義節操ニ背カサルヲ以テ奇貨トシ又能ク郷閭ノ公益ヲ慮ル氏カ村長
ニ舉ラル、豈偶然ナランヤ氏率直ヲ以テ名アリ

初狩村小林角左衛門氏 明治八年以來前後十九年間斷ナシ一村ノ公務ニ從事シタル一
端ヲ掲シレハ地券摺當副戸長村會議員學務委員戸長村總代蠶業組合議員等ニ各公撰セ
ラレ其他氏カ實踐シタル事蹟少々ナラス附令書賞狀等殆ンド堆ヲ爲セリト氏異才ヲ有

日川村雨宮勘右衛門氏 其ノ家號ヲ材木屋ト稱シ、穀商ヲ業トセリ、氏カ性質ノ機敏ナル等輩ノ及フ所ニアラス又學識經驗アリテ事ヲ處スルニ銳ナリ嗚呼自愛セヨ多望ノ人

古關村赤池英勝氏 カ經歷ノ一端ヲ掲ケレハ明治十七年五月十八日古關外八ヶ村聯合村會議員全三十年中市川大門外三十二ヶ村高等學校學事會議員ニ全三十五年四月五日古關村長等ニ各當撰セラル其他氏カ齡甫十五ヨリ爲シ終リタル功蹟又偉ナリ資性敏捷ニシテ能ク職任ヲ全フセリ

古關村小林重右衛門氏 先考ノ意ヲ享ケ農事ニ身ヲ勵マシテ家道ノ隆盛ヲ是レ謀レリ氏又專ラ公共ノ事ニ心ヲ傾ク、明治廿二年八月舉ラレテ同村長トナリ幾ナラスシテ職ヲ辭シ郡會議員ニ當撰シタリ

古關村赤池元兵衛氏 郷閭ニ篤實家ヲ問ハ、人先ツ多シ氏ヲ指スモノ、如シ實ニ其名實反セサルノ人ナリ明治十七年九月古關外八ヶ村聯合村會議員同二十二年八月同村會議員二十五年四月同村助役ニ當撰シ奉職中ナリ

古關村赤池重左衛門氏 性剛直ニシテ變故ノ爲メニ驚カズ斃レテ止ムノ勇氣アルヲ以テ時トシテ氏ヲ毀譽スルモノナキニアラサルモ眞ニ技倆等輩ノ及ハサルモノアリ

古關村伊藤武八氏 曩者戸長又ハ收入役ニ舉ラレタルコトアリ本年七月村長ニ當撰シタリ氏カ經歷ニ徵スレハ著者云ハスト雖モ氏ノ手腕ハ儲ニ知ルニ足ルモノナリ

小立村坂本榮重氏 幼ヨリ漢學ヲ修ム然レトモ資性剛毅素朴ナルカ如クニシテ文事ヲ好マス其讀書ニ於ケル只其大意ヲ領スルノミ氏長スルニ及ヒ身ヲ公務ニ委ヌルヤ前後三十有餘年熱心常ニ人ヲ驚カセリ其他人ト技ヲ較スルニ當テヤ殆ント斃ル、ニアラス

シハ巴マス蓋ノ事ニ臨ミ敢爲ノ氣アルハ氏ノ素性ナリ氏ノ經歷實ニテ又郷關ノ老成
抹ナリ

陸合村小泉信英氏 明治十一年七月二十日山梨縣師範學校ニ於テ卒業セリ後某學校ノ
教頭ヲ命セラル辭職後全十五年中南巨摩郡役所ニ奉職スルヨト數年全十九年五月豊和
羽鹿島村戸長拜命二十一年中辭職シ全二十三年十一月陸合村助役ニ舉ラル
共和村ニ宮貫平氏 舉ラレテ縣會議員タルコト數次、其他公選ノ職務少々ナラス、氏
カ已往ニ於テ公共ノ事業ニ力ヲ盡ス又凡ナラサルアルヲ見ル氏人ト爲リ儻磊落小節
ニ拘ラス客ヲ好ミ士ヲ愛ス、夙ニ事業家ヲ以テ名アリ

落居村嵩井協一氏 一見大政事家ノ如キ風采アルハ稟性ノ有徳ナリ明治七年ヨリ數年
間教育ニ從事シ全十二年ヨリ十七年迄河頭村戸長ヲ拜命シ尋テ三澤聯合書記トナリ十
八年辭職シ十九年ヨリ二十一年迄聯合村會議員ニ舉ラレ明治二十四年落居村長ニ又翌

年郡會議員ニ當撰セラル資性温厚ノ君子ナリ

共和村佐野恭三氏 文章ヲ善クシテ奇峭卓拔ニシテ謹嚴侵スヘカヲサルモノアリ眞辨若
又大ニ文章ニ類スルモノアリ要スルニ氏ノ文章辨舌共ニ一家獨得ノ妙アリ

西原村降矢頼武氏 村會議員又ハ收入役ニ舉ラレタルコトアリ常ニ村ノ情弊ヲ打破シ
自治ノ漸進ヲ謀リツ、アルモノ、如シ、氏能ク嚴正ヲ守レリ

英村宮川仙藏氏 虚飾ヲ好マズ實業ヲ尙フ口ヲ開クハ必ズ富國ノ本源殖産興業ニ在リ
ト云フ夙ニ戸長其他ノ職ニ就キノコトアリ

英村宮川正彦氏 明治二十二年舉ラレテ助役トナリ全二十五年辭職シタリ村會議員、
組長等ハ勤務中ナリ氏和歌ヲ善クス

小菅村藤木知孝氏 資性温厚ノ人ナリ嘗テ明治八年一月副戸長拜命同十一年一月辭職全十六年三月小菅村戸長拜命十九年十二月頃辭セリ誠意事務ヲ執リ篤實ノ評アリ

西原村降矢寛三郎氏 郷黨中殊遇ヲ蒙リテ温順ノ人ナリ然レ共事ヲ處スルニ正邪ヲ判スルノ果斷アルハ他ノ當ルヘカラサルモノアリ氏村長其他ノ職ヲ帶フ

西原村降矢王子次郎氏 天資眞率ニシテ邊幅ヲ飾ラズ方正ノ人ナリ往年戸長又ハ村會議員タルコトアリ當時西原郵便局長タリ氏カ異才ヲ有スル西原ノ僻陬ニ永ク隱居セムヘキノ人ニアラサルナリ

小菅村青柳一晴氏 曩者村長奉職中ノ如キハ教育ニ衛生ニ將テ勸業ニ公共ノ利益ヲ計畫シタルガ如シ宜ナリ地方ノ人民カ望テ氏ニ屬シテ止マサルヤ氏又郡會議員ニ舉ケラル

南八代村田邊幸右衛門氏 天資性、學ヲ好ミ、夙ニ漢學ヲ修メ廣ク歴史經書ニ涉獵セリ氏明治五年以來一村ノ公務ヲ帶フル一再ニアラサルナリ氏ガ村長タルコト數年其功績偉ナリ故ニ其筋ヨリ特ニ賞譽セラル氏ハ質朴ナル風采ヲ齎ラシテ實行實益ヲ期スル人ナルガ如シ

丹波山村守岡彌兵衛氏 舉ラレテ村長又ハ郡會議員トナルヤ其長技特能ヲ發揮シ以テ其ノ利害ヲ討議シ敢テ還ス所ナキカ如キハ以テ郷關ニ屹立シ衆庶ノ敬畏シテ措カサル所以ナリ

丹波山村守屋八左衛門氏 明治八年以來氏カ土木ニ勸業ニ教育ニ衛生ニ道路開鑿ニ盡シタル事蹟蓋シ少シトセサルナリ職務勉勵ノ爲メニ下賜セラレタル賞狀賞品等堆テ爲セリ又斷續村ノ公務ニ與カル資性剛毅沈勇ナルハ遠ク衆ノ及ハサルモノアリ客歲十月丹波山郵便局長ニ任用セラレ

丹波山村酒井賢佐氏 往年青梅街道開鑿ニハ與ツテカアリ該工事ハ獻金等ノ美舉アリ
賞狀賞品ヲ賜ル夙ニ公共ノ事業ニ志篤シ氏ガ明治ノ初年ヨリ盡シタル事蹟頗ル偉ナラ
キトモノヤ明治廿六年四月郡會議員ニ舉ラレ

小菅村小菅立太郎氏 嚴父光平氏ノ資性ヲ承ケ率直ノ人ナリ幼ニシテ學ヲ修メ大ニ得
ル所アリ夙ニ秩序ヲ守リ德義ヲ重シシ進取ノ主義ヲ採ルト云フ齡尙壯前途多望ノ人ナ

山梨人士傳評第壹卷終

明治廿六年十月廿四日印刷
明治廿六年十月卅一日發行

定價金二十錢



著者 發行

山梨縣甲府市稻門村第廿六番戶平民
米山信



印刷者

山梨縣中巨摩郡國母村
大字豐住第百二十番戶
村松

彈

印刷所

山梨縣甲府市常盤町八番戶
內藤傳右衛門

